

# 常盤平地域のまちづくり方針（概要版）



## ○常盤平地域の現状

昭和30年～40年代に大規模な土地区画整理事業により整備された区域が多く、具体的なまちの再生方針を定める必要が生じている

## ○地域の課題

- 高経年化（UR団地や公共施設などの老朽化等）
- にぎわいが少ない（少子高齢化等）
- 地域内の移動サービス（ニーズの多様化等）

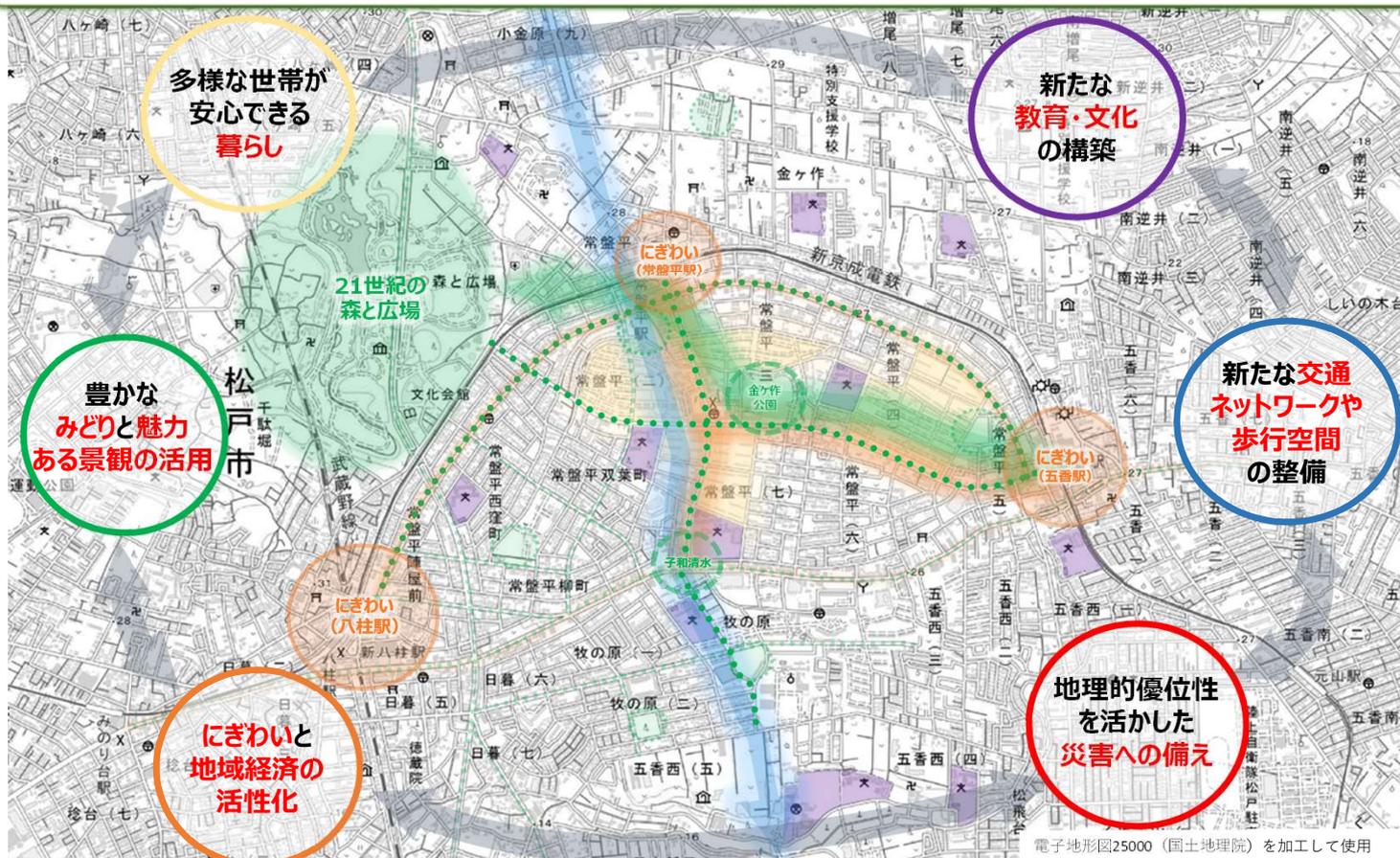
## ○地域の魅力

- 暮らしやすい（閑静な住宅地等）
- 水・みどり・歴史が豊か（公園・街路樹等）
- 満足度が高い（生活環境に満足が5割等）
- 都心や拠点に近い（東京駅へ電車で50分等）
- 災害に強い立地

魅力を活かし課題を解決

## コンセプト

### 人とみどりが つながる広がる ときわだいら



## 具体的計画のイメージ

### 多様な世帯が安心できる暮らし

- ・ UR都市機構の「ストック再生」と連動し、地域の方々や居住者などの声を聞き、寄り添った施策を検討していきます。
- ・ 現在お住まいの方のコミュニティーを大切に、子育て世帯の方も安心して暮らせるよう、様々な住環境を誘導します。

### 豊かなみどりと魅力ある景観の活用

- ・ 常盤平を象徴する桜並木など豊かなみどりや景観を保全するとともに、暮らしを支える新たなみどりを創造します。
- ・ 常盤平と21世紀の森と広場をみどりのネットワークでつなげ、まちの魅力と価値を高めます。
- ・ みどりある暮らしを楽しみ、「TOKIWALK」の充実など健康づくりの推進、交流機会の創出を図ります。

### にぎわいと地域経済の活性化

- ・ 「常盤平さくらまつり」や地域のイベントなど歴史ある催し物などを大切に、まちのにぎわいを創出します。
- ・ 新たなにぎわいにつながるチャレンジを応援し、多様な人たちの活動による商業の活性化を目指します。
- ・ 常盤平地区の玄関口である常盤平駅周辺の再生に向けた検討をします。

### 新たな教育・文化の構築

- ・ まちの再生に合わせ、よりよい教育環境の実現に向けた新たな教育モデルの検討をします。
- ・ 文化活動を通じた交流が生まれる仕組みを整えます。

### 新たな交通ネットワークや歩行空間の整備

- ・ まちの再生に合わせ、道路、交通などインフラの再整備を行い、移動しやすい環境を整えます。
- ・ 自動運転などを活用した、新たな移動手段の導入を検討します。

### 地理的優位性を活かした災害への備え

- ・ 震災等に備え、避難場所・避難所の機能の充実や地域防災力の強化を進めます。